

## パーキンソン病に対する新しい外科治療 ～MRガイド下集束超音波治療～

脳神経内科 小坂田 陽介

パーキンソン病とは中脳の黒質という場所にある、ドパミン神経細胞が減少し、作られるドパミンが減ることで、体の動きをスムーズに制御することが難しくなる原因不明の神経の病気です(図1)。パーキンソン病の主な運動症状は、ふるえ(振戦)、動作緩慢、筋強剛、姿勢保持障害です。ふるえは安静時に目立つのが特徴で、座って膝の上に手を置いているときなどに起きます。患者さんの数は日本国内で約16万人、1000人に1人～1.5人とされていますが、高齢者に多く、60歳以上では100人に約1人との報告もあります。



図1 パーキンソン病  
(世界で最も有名な一枚)

パーキンソン病の治療は薬物治療が基本です。ドパミン神経細胞の減少により少なくなったドパミンを補充する治療が一般的です。しかし、薬物治療で十分な効果が得られない場合や、お薬の効いている時間帯が短くなってきた時には手術療法が検討されます。高周波凝固術(RF)は脳内の異常神経回路を熱凝固により壊すことで、症状を軽減する治療法です。頭蓋骨に小さな穴をあけて熱凝固針を刺入し、治療部位を高周波で熱して凝固します。脳深部刺激療法(DBS)は脳内に電気信号を流して、異常な神経信号を調節する治療法です。頭蓋骨に小さな穴を開けて刺激電極、胸にペースメーカーのような刺激発生装置を植え込みます。

当院では最新の治療装置として、2016年よりMRガイド下集束超音波治療器(MRgFUS)を導入しました。この装置は約1000本の超音波ビームをパーキンソン症状の原因となる異常神経回路の一部に集め、約55～60℃の熱で凝固破壊する装置です。あたかも虫眼鏡で

太陽光を集めて紙を燃やすようなものです。最大の利点は従来の手術法のように頭蓋骨に穴をあける必要がなく、出血や感染などの合併症が回避でき、また、治療中は常にMRIで監視できるので、異常をすぐ検知できる比較的安全性の高い治療装置です。症状の改善具合も確認しながら治療をすすめることができます(図2)。

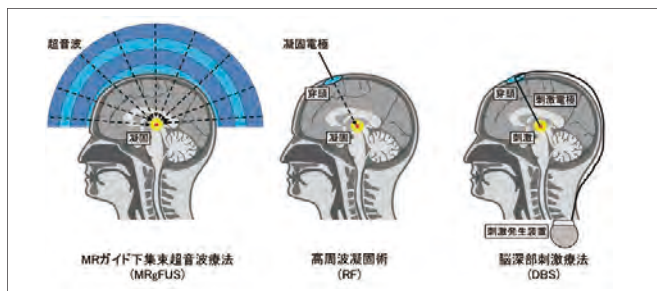


図2 それぞれの治療方法比較

これまで当院におけるMRgFUSの実績としては、難治性本態性振戦(2019年6月保険収載)というふるえの病気に対して、延べ80人以上の患者さんの治療を行ってきました(図3, 4)。そして、2020年9月には薬物治療で十分な効果を得ることのできないパーキンソン病患者さんの”ふるえ””運動症状(ジスキネジア/筋固縮など)”の緩和を目的とした治療にも保険収載されました。もちろん、すべてのパーキンソン病患者さんが本治療の適応になるわけではなく、それぞれの患者さん毎に、その時の状況に合った最適な治療法をご提案させていただきます。切らずに治す最新の治療にご興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度ご相談下さい。



図3 実際の治療風景



図4 多職種のチームで治療しています!!

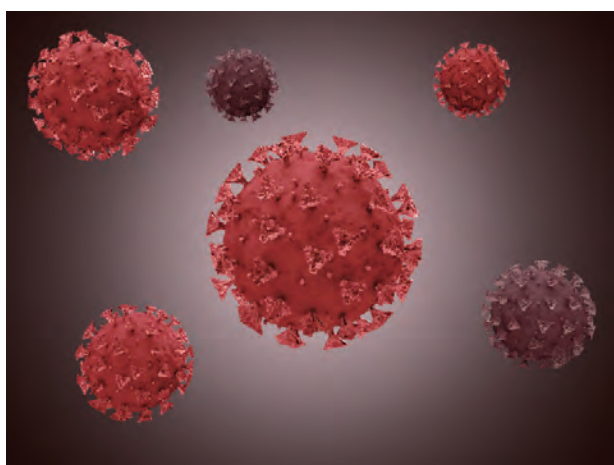
# 肥満と新型コロナウイルス感染症

栄養管理科 主任 田淵 鉄也

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する研究が数多く行われています。その中で、肥満はCOVID-19が重症化するリスク要因であることが明らかになったと報告されています。2型糖尿病や高血圧、心臓病、慢性腎臓病、肝臓病といった基礎疾患は肥満と関連が深く、それぞれがCOVID-19を悪化させる要因と考えられています。また、肥満の人はワクチンを接種してもその予防効果が薄れる可能性があるかと懸念されています。

外出が自粛されている中、“コロナ太り”したと思われる人は少なくないと思います。加工食品を減らし、野菜、果物、豆類、海藻類などを使ってバランスの良い食事を心がけ、食べ過ぎないようにしましょう。運動不足にならないように、適度な運動も必要です。

肥満を改善するためには食事を見直す必要がありますので、医師や栄養士にご相談ください。



## 外来での新型コロナウイルス感染症対策

外来 濱口 裕子

日頃は検温、手指消毒にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルスが中国で発生し、昨年2月に横浜港でダイヤモンドプリンセス号のコロナ騒動の時は、今のような状況になるとは思ってもいませんでした。1年の間に感染拡大、緊急事態宣言、自粛生活とこれまでの生活がどれだけ自由で恵まれ楽しいものだったのかと実感しました。

当院でも現在は通常の診療に戻り、感染防止対策を実施しています。院内は医療用高規格空気触媒で接触する場所はコーティングされ、病院入り口では検温、手指消毒、マスク着用の確認をしております。1階フロアでは各部署で換気、拭き掃除、物品の拭き取り、筆記具類の消毒を時間ごとにしております。換気している際は院内が冷気でとても寒い状態になり、待合にいらっしゃる患者さまにはご不便をおかけしています。

入院患者さまへの面会禁止など、まだまだ制限される生活が続きますが、今後も気を緩めることなく、感染防止対策をしていきたいと思っております。ご協力をお願い致します。





# 外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	砂田	角田	前岡	松岡
	午後	高橋〈血〉	脊髄・脊髄外来 山本	角田	前岡	松岡〈脊〉
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	片山
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	—	神経内科 小坂田
	午後	脊髄・脊髄外来 山本	神経内科小坂田 (FUS)	脊髄・脊髄外来 山本	第4週 てんかん 田村 第1・3週 神経内科 山下 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

(2021.3)

## 連携協力医療機関のご紹介 (No.218)

### 杉浦耳鼻咽喉科

院長：杉浦 友昭



【認定資格・所属学会・専門医】耳鼻咽喉科専門医、日本耳鼻咽喉科学会所属、補聴器相談医

【診療科目】耳鼻咽喉科

【住所】神戸市西区伊川谷町潤和1425-4

【電話】078-974-9187



#### 杉浦院長からのメッセージ

鼻炎・副鼻腔炎・咽喉頭炎・外耳炎・中耳炎・難聴・めまい等の診療と補聴器相談実施中。特に新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に早期の花粉症治療をお勧めしております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30～12:00	／	○	○	／	／	○	／
15:30～18:00	○	／	／	／	○	／	／

休診日：月曜午前、火曜午後、水曜午後、木曜、金曜午前、土曜午後、日曜、祝日

## 連携協力医療機関のご紹介 (No.219)

### ゆうこう内科クリニック

院長：近野 真嗣

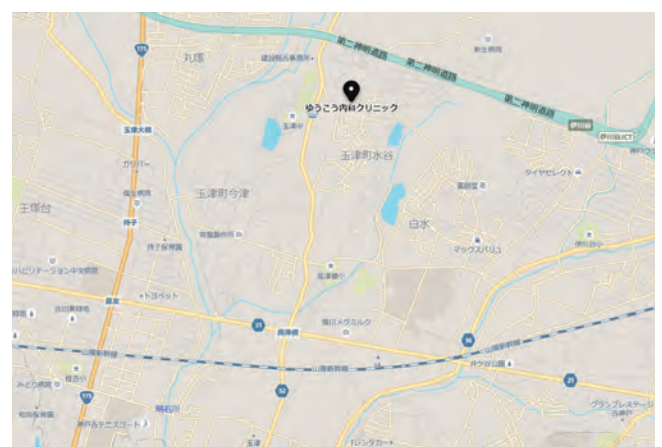


【認定資格・所属学会・専門医】医学博士、日本医師会認定産業医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本内科学会所属、日本消化器病学会所属

【診療科目】内科・消化器科・リハビリテーション

【住所】神戸市西区水谷2丁目20-3

【電話】078-915-1376



#### 近野院長からのメッセージ

地域の皆様のかかりつけ医として疾患への対応だけでなく、疾患の予防にも役割をはたしていきたいと思っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
15:30～18:00	○	○	○	／	○	／	／

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

